

第7回自然観察会「冬の野鳥を観察しよう」 活動の記録

- 1 日 時 令和6年1月20日(土) 8時15分～10時20分 (降雨のため途中で中止)
- 2 場 所 螢田駅～酒匂川水系狩川下流域 (蓮正寺橋付近)
- 3 講 師 垂水 宏昌 (矢作小学校総括教諭) 初瀬川孝夫 (元酒匂中学校教頭)
村岡 俊明 (国府津中学校総括教諭) 西垣 亮 (白山中学校教諭)
長山 高子 (元白山中学校教諭) 谷 圭司 (元千代中学校教諭)
米山 有美 (自然観察員)

—敬称略—

- 4 内 容 酒匂川水系のカモを中心にした野鳥の観察
- 5 日 程 8時15分～8時30分 小田急線螢田駅前 講師・研究所員打ち合わせ
8時30分～8時40分 参加者集合・受付 あいさつ・講師紹介・諸注意等
8時40分～10時00分 観察・解説 螢田駅～蓮正寺橋
10時10分 参加者解散 小田急線螢田駅前
10時10分～10時20分 講師・研究所員反省

6 活動のまとめ

今にも雨が降り出しそうな空模様の中、受付を始めました。残念ながら、講師があいさつをし始めた途端に冷たい雨が降り始めました。直前に打ち合わせた通り、雨をしのげる小田原厚木道路の下をめざし移動することにしました。

①民家のアンテナにキジバト

歩き始めて程なくして講師がアンテナに止まっている2羽のキジバトを見つけました。垂水講師が素早く望遠鏡を設置し参加者が代わる代わるレンズを覗き、様子を観察しました。初瀬川講師から双眼鏡を持参した人は「鳥を見て、そのまま目を動かさずに双眼鏡を目に当てる」ように、双眼鏡の使い方について指示がありました。また、キジバトの様子について「今日のように寒い日には羽の間に空気をためて体を膨らませている。羽毛布団をまとっているのと同じ状態にして寒さをしのいでいる。」という説明がありました。

狩川に向かう途中、上空を旋回している2羽のトビを観察することができました。



アンテナにキジバトがいるよ

②狩川の土手で地形及び植物の観察

雨で煙っていましたが、土手からは箱根から丹沢にかけての山々を眺めることができました。長山講師から丹沢山地と箱根火山の成り立ちについて、持参したプリントを用いて説明がありました。場所を移し、谷講師が話を引き継ぎ、立体的な模型を用いてさらに詳しく説明しました。

米山講師からアズマネザサやクコ等、土手で見られる植物について説明がありました。クコは秋になると赤い実をつけデザートやお菓子の材料に使われたり、葉や根とともに薬用として活用されたりしているそうです。



どの山が最初にできたと思いますか



海のほうから伊豆が日本列島にぶつかり…

③土手から周囲を眺める

電線には数羽のドバトが止まっていた。また、民家のアンテナにヒヨドリが止まっていたため、垂水講師が望遠鏡を設置し、参加者一人一人が様子を確認しました。

④小田原厚木道路の下で川面を眺める

対岸に2羽のセグロセキレイがいることに講師が気づきました。草地を移動したり川面の上を飛んだりして盛んに移動していました。

しばらくすると、蓮正寺橋の下流にいた4～5羽のオオバンが移動してきました。その様子を映像に収めようと参加者の皆さんが一斉にカメラを構えました。すると、オオバンに続くかのように上流からカワウとダイサギが飛来し通過していきました。



雨をしのぎながら野鳥観察

⑤雨の中、蓮正寺橋の下流で野鳥の観察

オオバンが下流に移動したことに伴い、蓮正寺橋を渡り右岸に移動しました。対岸を眺めると、オオバンに混ざってカルガモが水面を移動していました。講師が対岸から川面に突き出ている枝に止まっているカワセミを発見しました。多少、移動しながらもほとんど同じ場所にとどまっていたので、垂水講師が設置した望遠鏡や持参した双眼鏡で、カワセミの特徴であるコバルトブルーの背中やオレンジ色のお腹を確認することができました。カワセミの観察に夢中になっていると、カワウが上流に向かい、悠々と飛んでいきました。

⑥最後に講師へ質問

雨が一向に止む気配がなく、冷え込んできたため、観察会を中止することにしました。再び、雨がしのげる小田原厚木道路の下に移動し、観察のまとめを行いました。講師から「自然の中では晴雨にかかわらず、普段通りの活動が行われている。今日はその様子を観察でき

てよかった。」という話があり、参加者から質問を受けました。子どもたちから鋭い質問が飛び交い、講師が一つ一つ丁寧に答えていました。



カワセミがいます！



雨をしのぎながら観察のまとめ

7 参加者の感想

雨天のため、感想を書く機会をもちませんでした。

観察された鳥類

1	ペリカン目	ウ科	カワウ
2	コウノトリ目	サギ科	ダイサギ
3	タカ目	タカ科	トビ
4	カモ目	カモ科	カルガモ
5	ツル目	クイナ科	オオバン
6	ハト目	ハト科	キジバト
7	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ
8	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ
9			セグロセキレイ
10		ヒヨドリ科	ヒヨドリ
11		ヒタキ科ツグミ亜科	ジュウビタキ
12			ツグミ
13		ホオジロ科	アオジ
14		アトリ科	カワラヒワ
15		ムクドリ科	ムクドリ

13 科 15 種類 + ドバト

(酒匂中学校元教頭 初瀬川孝夫先生による)